

教育心理研究部門

「社会性と感情教育」研究部会（第39回）

日時：2018年10月22日（月）11：30～14：30

場所：野間教育研究所 2階閲覧スペース

出席：渡辺弥生・飯田順子・小林朋子・大森美香・藤枝静暁 各兼任研究員
吉久知延所長・金沢千秋・泉水里香・鈴藤益弘

内容：（1）飯田順子氏より、1. 紀要第5章の構成案提出 2. 紀要に挿入したい論文紹介

1. 第5章 社会性と感情の発達における親子間の相互作用

第1節 子どもの感情発達における親の影響：遺伝と環境

(1) チェスとトーマス縦断研究（87家族、子ども138人）1960年前後の研究

(2) ケーガンの研究 450人以上の4か月児について20年間観察

(3) エビジェネティックス

第2節 感情の社会化における親子関係の影響

(1) 感情の社会化における親子関係の影響

(2) 親子関係に関連する感情調整を測定する尺度

(3) 感情語の発達における親の影響

第3節 子どもの社会性と感情の発達を促す親支援プログラム

2. Are Funlola & Anne Shaffer “Family Emotion Expressiveness Mediates the Relations Between Maternal Emotion Regulation and Child Emotion Regulation”
(2016, Child Psychiatry Human Development 47:708-715)

（2）大森美香氏より、「EMA（Ecological Momentary Assessment）という測定法を用いた
身体不満足の生起 プロセスの研究」の紹介

・この方法が当研究部会の研究に応用できるか検討したい

・次回の研究会は、11月19日（月）11：30～。

発表者は、渡辺氏と藤枝氏の予定。